



令和2年7月1日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部

総務広報課長

宮崎大学工学部の改組（令和3年4月）について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

宮崎大学工学部は、令和3年4月に改組を行います。今回の改組は、現在の7学科から1学科6プログラムへの変更、ジェネラリティを持つスペシャリストの養成、データサイエンス分野の強化及び環境・エネルギー工学研究センターの機能強化などを特徴としており、近年の社会情勢の急激な変化や社会からの要請に応える人材を県内企業や地方公共団体に供給していくことを目指しています。

つきましては、県民の皆様に広く報道していただきますようお願いいたします。

敬 具

① 問い合わせ先

宮崎大学工学部総務係

TEL : 0985-58-2871 FAX : 0985-58-2876

② 発信元

宮崎大学企画総務部総務広報課広報係

TEL : 0985-58-7114 FAX : 0985-58-2818

宮崎大学工学部の改組（令和3年4月）の特色

本学部は宮崎地域における唯一の工学系学部として、工学系専門職業人及び高度専門職業人育成や地方公共団体及び地域企業への地域貢献等に取り組み、成果を上げてきました。しかし、近年の社会情勢の急激な変化や社会からの要請に対応するため改組を行います。

本学部は平成24年度に改組を行い、その成果を検証すべく平成29年度には自己点検を行いました。自己点検・評価報告書では、分野間における融合教育の推進等いくつかの改善に向けた事項が確認され、対応が必要となっています。また、地方公共団体や宮崎県工業会から、改組に対する強い要望が寄せられています。加えて、県内には、大規模な量産工場や酒造メーカーを中心とした食品企業等があり、今回の改組によって、これまで輩出してきた工学系以外の分野においても、県内企業や地方公共団体に人材を供給することが期待されています。

以上の状況を踏まえ、今回の改組では以下の内容を盛り込んで行います。

1) 7学科から1学科6プログラムへ変更

地方公共団体や地域企業へのアンケート結果において、本学部には「複数分野の横断的教育」や「要請する人材像の明確化」が強く求められております。また、近年の社会構造の大きな変革として、「Society 5.0」を構築するため、学際的・融合的な人材養成が喫緊の課題として挙げられています。一方、平成24年度の学部改組では、化学・機械・電気・情報の融合分野である「環境ロボティクス学科」を設置した。自己点検・評価報告書では「入試倍率は工学部のそれと同程度であること、就職先産業は分野融合を特徴づける分布であることから、学科の目標を一定の水準で果たした」と自己評価しております。今回の改組では、総合的な知見を有する人材育成を行うため、「環境ロボティクス学科」での実践内容を学部全体に展開し、7学科から1学科6プログラムに改組します。応用物質化学、土木環境工学、応用物理工学、電気電子工学、機械知能工学、情報通信工学の教育プログラムを設置します。

2) ジェネラリティを持つスペシャリストの養成

近年の社会を取り巻く環境の変化により、「スペシャリストとしての専門の深い知識と同時に、分野の多様性を理解し、他者との協調の下、異分野との融合・学際領域の推進も見据えることができる幅広い知識・俯瞰的視野を持つ人材を育成することも重要」であることが、宮崎県内の産業界からも指摘されております。本学部でも、関連学科間において融合分野教育を実施していますが、十分とは言い難い状況です。これらを踏まえて、専門分野のみならず、複数の工学系分野を横断的に学習できる『共通融合科目』（各プログラムの共通概論科目、各プログラムの専門導入科目、アクティブラーニング

を活用した PBL 科目) を設置し、総合的な知見を有する人材の育成を行います。

3) データサイエンス分野の強化

地域からの要請がある学部学生として共通に身に付けてほしい能力として、数理情報・データ処理の基礎能力が挙げられます。現在の本学部においては関連する専門基礎科目として、実験データの集計や処理で必須となる「確率・統計」が、いくつかの学科で設定されているものの、学部共通科目としての設定には至っていない状況です。また、上述のとおり本学部の主な就職先について、AI や IoT (Internet of Things) などの情報通信分野の人材が不足していると指摘され、全国工学系学部における就職先割合 63%に占める情報通信分野の割合が 19%であるのに比べて、本学部は 64%中 13%と低く、情報通信業へ人材を輩出するシフト対応がやや遅れている状況です。

以上の状況を踏まえ、今回の改組では、工学基礎教育センターに「データサイエンス」部門を設置し、工学部全学生に対して「数理情報 I」、「数理情報 II」の科目を開講します。「数理情報 I」は、「数理情報基礎」と「データサイエンス概論」の 2 分野、「数理情報 II」は、「確率・統計」と「多変量解析」の 2 分野で構成されています。講義と適宜演習を行い、データサイエンスの基礎能力を育成します。

4) 環境・エネルギー工学研究センターの機能強化

環境・エネルギー工学研究センターは、太陽熱・太陽光高度活用技術の研究開発分野において、世界トップクラスの実績を挙げています。本学全体の研究戦略においても重点研究分野として「エネルギー」が掲げられており、太陽エネルギー・再生可能エネルギーの研究・開発の拠点として、改組後の工学部から工学研究科への大学院接続の強化による研究のレベルアップ等を含めた機能強化を目指します。

別紙 1 : 宮崎大学工学部工学科 7 学科から 1 学科 6 プログラムへ

別紙 2 : 宮崎大学工学部工学科 入学～卒業フロー

別紙 3 : 令和 4 年度 (2022 年度) 宮崎大学入学者選抜について (予告)

【R3年度改組】 宮崎大学工学部工学科 7学科から1学科6プログラムへ

現7学科
【370名】(編入10名)

- 環境応用化学科【58名】
- 社会環境システム工学科【53名】
- 環境ロボティクス学科【49名】
- 機械設計システム工学科【54名】
- 電子物理工学科【53名】
- 電気システム工学科【49名】
- 情報システム工学科【54名】

新1学科6プログラム
【370名】(編入10名)

- 応用物質化学プログラム
- 土木環境工学プログラム
- 応用物理工学プログラム
- 電気電子工学プログラム
- 機械知能工学プログラム
- 情報通信工学プログラム

育成
人材像
A
B
C
D
E
F



学部内連携

- 工学基礎教育センター
- 環境・エネルギー工学研究センター

進路
A. 化学工業、医薬品製造業、食品工業、金属製品製造業、電子部品・デバイス製造業、環境分析業、高分子材料系企業、自動車関連産業、プラント製造業、高校理科教員、 大学院進学
B. 国家・地方公務員、総合建設業、建設・環境コンサルタント業、鉄鋼・重工業、セメント・コンクリート業、環境関連企業、運輸・通信企業、 大学院進学
C. 半導体材料系企業、金属材料系企業、電子部品・デバイス製造業、電子回路製造業、電気情報通信機器製造業、情報通信業、非鉄金属・金属製品製造業、自動車関連産業、プラント製造業、メンテナンス業、高校理科教員、公務員、 大学院進学
D. 家電業界、重電業界、電力業界、電気設備業界、通信業界、放送業界、電子部品・半導体産業、自動車産業、マスコミ、公務員、教員、 大学院進学
E. 自動車、自動車部品、総合電機、鉄鋼・非鉄金属、金属製品、ボイラ・原動機、ポンプ・圧縮機器、光学機械器具、精密機器、農業機械、住宅設備機器、厨房機器、電子部品、プラント、造船、医療機器、産業用ロボット、環境技術、鉄道、航空、職業訓練指導員、公務員、 大学院進学
F. 情報通信業、電気・情報通信・機械製造業、輸送用機械製造業、電子部品・デバイス製造業、電子回路製造業、システム設計、受託開発ソフトウェア業、組込みソフトウェア業、パッケージソフトウェア業、情報処理・提供サービス業、公務員、 大学院進学

令和2年3月31日
宮 崎 大 学

令和4年度（2022年度）宮崎大学入学者選抜について（予告）

令和4年度（2022年度）宮崎大学工学部入学者選抜における募集人員，共通テスト利用教科・科目，個別学力検査科目等について下記のとおり，予告します。

記

1. 主な変更点等
2. 工学部入学者選抜の概要（予定）

1. 主な変更点等

【工学部】

令和3年度（2021年度）に学部改組を計画しています。学部を改組した場合の入学
者選抜概要は2ページの「2. 工学部入学者選抜の概要（予定）」を参照ください。

なお、学部を改組しなかった場合は、変更点はありません。

2. 工学部入学者選抜の概要（予定）

以下の内容は予定であり，変更する場合があります。

①. 募集人員

学 科	入学定員	募 集 人 員							
		一 般 選 抜		学 校 推 薦 型 選 抜	総 合 型 選 抜	グ ローバル 人 材 育 成 入 試	帰 国 子 女 入 試	社 会 人 入 試	私 費 外 国 人 留 学 生 入 試
		前 期 日 程	後 期 日 程						
工 学 科	370	240	90		40				若 干 人
小 計	370	240	90		40				

②. 一般選抜（前期日程・後期日程）における実施教科・科目等

学科	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科	科目名等
工 学 科	前期	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B
		地歴・公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 「倫・政経」	理	物基・物, 化基・化から1
		数	数Ⅰ・数Aと(数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1【注1】)の2	外	コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ【注2】
		理	物, 化, 生から2		〔3教科3科目〕
		外	英(以ニツクを含む), 独, 仏, 中, 韓から1		
			〔5教科7科目〕		
	後期	国	国語	理	物基・物, 化基・化から1
		地歴・公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 「倫・政経」		〔1教科1科目〕
		数	数Ⅰ・数Aと(数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1【注1】)の2		
		理	物, 化, 生から2		
		外	英(以ニツクを含む), 独, 仏, 中, 韓から1		
			〔5教科7科目〕		

【注1】 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。

【注2】 前期日程において、英語の資格・検定試験の一定以上のスコア（級）を取得している場合、個別学力検査における英語の試験を免除し、英語を満点とする。詳細は後日公表する。

③. 総合型選抜の概要

共通テスト	課さない																			
学 科 ・ プ ロ グ ラ ム	工 学 科																			
	応用物質化学 プログラム	土木環境工学 プログラム	応用物理工学 プログラム	電気電子工学 プログラム	機械知能工学 プログラム	情報通信工学 プログラム														
募 集 人 員	40 (予定)																			
出 願 要 件	<p>1. 高等学校を令和3年(2021年)4月から令和4年(2022年)3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>2. 志望するプログラムに対する熱意を有する者</p> <p>3. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※ 高等学校には中等教育学校, 特別支援学校の高等部, 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p>																			
選 抜 方 法 等	<p>(第1次選考)</p> <p>自己推薦書, 調査書及び活動報告書により選考を行います。 第1次選考の合格者の上限は, 各プログラムとも募集人員の3倍程度とします。</p> <p>(第2次選考)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プログラム</th> <th>検査項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応用物質化学プログラム</td> <td>小論文, 個人面接(口頭試問を含む)</td> </tr> <tr> <td>土木環境工学プログラム</td> <td>筆記試験, 集団討論, 個人面接</td> </tr> <tr> <td>応用物理工学プログラム</td> <td>筆記試験, 集団討論, 個人面接</td> </tr> <tr> <td>電気電子工学プログラム</td> <td>小論文, 集団討論, 個人面接</td> </tr> <tr> <td>機械知能工学プログラム</td> <td>集団討論, 個人面接(口頭試問を含む)</td> </tr> <tr> <td>情報通信工学プログラム</td> <td>個人面接(口頭試問を含む)</td> </tr> </tbody> </table> <p>と第1次選考結果を総合して選抜します。</p>						プログラム	検査項目	応用物質化学プログラム	小論文, 個人面接(口頭試問を含む)	土木環境工学プログラム	筆記試験, 集団討論, 個人面接	応用物理工学プログラム	筆記試験, 集団討論, 個人面接	電気電子工学プログラム	小論文, 集団討論, 個人面接	機械知能工学プログラム	集団討論, 個人面接(口頭試問を含む)	情報通信工学プログラム	個人面接(口頭試問を含む)
プログラム	検査項目																			
応用物質化学プログラム	小論文, 個人面接(口頭試問を含む)																			
土木環境工学プログラム	筆記試験, 集団討論, 個人面接																			
応用物理工学プログラム	筆記試験, 集団討論, 個人面接																			
電気電子工学プログラム	小論文, 集団討論, 個人面接																			
機械知能工学プログラム	集団討論, 個人面接(口頭試問を含む)																			
情報通信工学プログラム	個人面接(口頭試問を含む)																			
出 願 期 間	令和3年(2021年)9月上旬																			
選 抜 期 日	(第2次選考) 令和3年(2021年)9月下旬~10月中旬の2日間 ※志願者数によっては1日で終了する場合があります。																			
合 格 発 表 日	(第1次選考) 令和3年(2021年)9月中旬 (最終) 令和3年(2021年)11月上旬																			

④. 私費外国人留学生入試の概要

共通テスト	課さない					
学 科 ・ プ ロ グ ラ ム	工 学 科					
	応用物質化学 プログラム	土木環境工学 プログラム	応用物理工学 プログラム	電気電子工学 プログラム	機械知能工学 プログラム	情報通信工学 プログラム
募集人員	若干人					
出 願 要 件	<p>独立行政法人日本学生支援機構が6月と11月に実施する「令和3年度（2021年度）日本留学試験」において、下記の「選抜方法等」に示す教科・科目を受験した者で、次の①から③までに該当する者</p> <p>① 日本の国籍を有しない者、かつ日本国の永住許可を得ていない者</p> <p>② 次のいずれかに該当する者</p> <p>ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和4年（2022年）3月修了見込みの者を含む。）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者</p> <p>イ 国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格のいずれかを有する者で令和4年（2022年）3月31日までに18歳に達する者</p> <p>③ 出入国管理及び難民認定法に基づく大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者</p> <p>【注意】 日本の国籍を有しない者であっても日本の高等学校又は中等教育学校の3年間の教育課程を履修し、かつ卒業した者（令和4年（2022年）3月卒業見込みの者を含む。）については、一般入試によることとし、この私費外国人留学生入試には出願できません。</p>					
選 抜 方 法 等	<p>独立行政法人日本学生支援機構が6月と11月に実施する「令和3年度（2021年度）日本留学試験」のいずれかの成績、本学が行う小論文（日本語）、面接及び最終出身学校の各成績の結果を総合して選抜します。</p> <p>◎「日本留学試験」出題教科・科目 利用教科・科目 ①日本語、理科、数学を受験してください。 ②理科の科目選択は指定しません。 ③数学はコース2を受験してください。</p> <p>出 題 言 語 指定しません。</p>					
出 願 期 間	令和4年（2022年）1月中旬					
選 抜 期 日	令和4年（2022年）2月中旬					
合 格 発 表 日	令和4年（2022年）2月下旬					